

平成 21 年 8 月 31 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、雇用情勢が低迷し、生産活動、個人消費、観光関連も低調に推移するなど、厳しい状態が続いている。

生産活動は、電子部品関連が持ち直しているものの、食品関連が伸び悩んでいる。個人消費関連は、大型小売店（百貨店・スーパー）販売額や新車（乗用車・軽自動車）販売台数がともに前年を下回った。投資関連では、公共工事が増加したものの、民間建築工事、住宅着工ともに低調。その間、観光入り込み客数も前年を下回った。

【生産活動】 ... 低調

電子部品関連は、IC 生産が在庫調整の一巡により持ち直しているものの、前年の水準に及ばない。

7月の**生コン**生産（出荷量）は、公共工事向け、民間工事向け出荷とともに前年を下回ったため、全体で前年比 4.3% 減となった。

7月の**紙パルプ**生産は、前年比 32.9% 減と引き続き低調に推移している。

木材関係は、住宅建設向け需要が弱いことから、製材品が生産、出荷ともに低調に推移している。

焼酎の生産は、全体では未納税出荷の落ち込みが大きく、減少傾向にあり、出荷も伸び悩んでいる。

6月の**かつお節**生産は、2 カ月連続で前年を上回った。

【畜産関連】 ... 低調

肉用牛（和牛）の枝肉相場は前年を下回る水準に変わりはなく、子牛価格も前年を下回っている。加えて、豚肉相場、ブロイラー相場、鶏卵相場も前年を下回る水準で推移している。

【消費関連】 ... 低調

6月の大型小売店（百貨店＋スーパー）販売は、衣料品、食料品ともに前年を下回り、全体では前年比10.9%減と2カ月連続で前年を下回った。

7月の乗用車新車販売台数は、ハイブリッドカーやエコカー減税の効果がみられたものの、3.3%減と12カ月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車が10.4%増となったものの、小型車は10.6%減となった。軽自動車は15.0%減と8カ月連続で前年を下回った。

【観光関連】 ... 低調

7月の離島を除く主要ホテル・旅館の宿泊客数は、前年比3.5%減と6カ月連続で前年を下回った。霧島地区は、ETC効果と夏休み旅行宿泊者が多く増加した。一方、鹿児島地区は、皆既日食に伴う宿泊がみられたものの伸び悩み、指宿地区は「篤姫」効果の反動で前年を下回った。また、種子島・屋久島地区は、皆既日食に伴う需要が期待されるも、宿泊施設への入り込みは低調だった。この間の主要観光施設入場者数は、一部を除いて前年を下回った。

【投資関連】 ... 低調

7月の**公共工事**(西日本建設業保証調べ)は、前倒し発注や補正予算の効果もあり、件数、請負金額ともに前年を上回った。

6月の**民間建築工事**は、棟数、床面積、工事費予定額のすべてにおいて前年を下回った。

6月の**新設住宅着工戸数**は、特に貸家、分譲(マンション)が前年を大きく下回り、全体で前年比44.4%減と、7カ月連続で前年を下回った。

7月の主要**建設資材**卸売業者の売り上げは、前年を下回った。

【貿易関連】 ... 低調

6月の**輸出額**は、半導体等電子部品や科学光学機器などが大幅な減少となったことにより、全体で65.6%減と4カ月連続で前年を下回った。**輸入額**は、原油及び粗油や穀物及び同調整品が前年を下回ったことから、全体では前年比56.4%減と8カ月連続で前年を下回った。

【雇用情勢】 ... 横ばい

6月の有効求人倍率は、前月と同水準となる0.34倍で、雇用情勢は依然として厳しい状態が続いている。

【金融情勢】 ... 伸び悩み

資金需要は、企業の緊急保証制度等を利用した運転資金が堅調なもの、設備資金が弱含んでいる。

【企業倒産】 ... 件数、負債額ともに減少

7月の**企業倒産**は、件数が6件と前年同月(15件)を下回り、負債額も9億70百万円と前年同月(45億70百万円)を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)鹿児島地域経済研究所(099-225-7491)